

平成 22 年 10 月 28 日
気 象 庁

公表資料の追加及び一部修正について

公表した資料のうち、特殊気象報に関する解説資料について、「特殊気象報（風）」及び「特殊気象報（気圧）」に関する記述が不足しておりましたので、関連資料も含め下記のとおり追加・修正を行います。

1. 解説資料の修正について

- (1) 「特殊気象報_解説資料.pdf」の風・気圧に関する事項について、追記修正を行いました。
 - (ア) 1 ページの題名の「特殊気象報(季節観測・各種現象)XML の解説」を「特殊気象報(季節観測・各種現象・風・気圧)XML の解説」に。
 - (イ) 1 ページの説明文の「特殊気象報（季節観測・各種現象）XML の構造」を「特殊気象報（季節観測・各種現象・風・気圧）XML の構造」に。
 - (ウ) 1 ページの 1 - 4 EditorialOffice の「官署名を記載する。」を「**気象**官署名を記載する（注）」に。
 - (エ) 1 ページの 1 - 5 PublishingOffice の「官署名を記載する。」を「**気象**官署名を記載する（注）」に、「カナ形式の電文におけ.....相当する。」の文章を削除。
 - (オ) 2 ページの 2 - 1 Title の「“特殊気象報（各種現象）”のいずれかを」を「“特殊気象報（各種現象）” “特殊気象報（風）” “特殊気象報(気圧)”のいずれかを」に。
 - (カ) 2 ページの 2 - 4 EventID の「発表時刻の日本標準時（JST）表記の“YYYYMMDDHHMM00_”に続いて、観測した項目を記載する。」を「独立した情報取り扱い単位における識別情報として用いる。識別情報のフォーマットは以下の通り。
 - 1 Body/MeteorologicalInfos 部の@type が“季節観測” “特殊気象報（各種現象）”の場合、発表時刻の日本標準時（JST）表記の“YYYYMMDDHHMM00_”に続いて、観測した項目を記載する。
 - 2 Body/MeteorologicalInfos 部の@type が“特殊気象報（風）” “特殊気象報（気圧）”の場合、発表時刻の日本標準時（JST）表記の“YYYYMMDDHHMM00_”に続いて、観測した項目、“_”、現象を観測した気象官署（特別地域気象観測所を含む）の国際地点番号を記載する。」に。
 - (キ) 3 ページの 3 - 1 MeteorologicalInfos 部の「“特殊気象報（各種現象）”のいずれかを」を「“特殊気象報（各種現象）” “特殊気象報（風）” “特殊気象報(気圧)”のいずれかを」に。

- (ク) 3 ページの 3-1-1-2-1 Kind 部の 1 行目に「特殊気象報の観測項目について記載する。」の説明を追加。
- (ケ) 3 ページの 3-1-1-2-1-1 Name の「項目名」を「項目名。MeteorologicalInfos 部の@type が“季節観測”“特殊気象報（各種現象）”の場合に出現する。」とし、[解説]情報に項番を付加。また、枠内に電文例を追記。
- (コ) 3 ページ～5 ページに 3-1-1-2-1-2 Property 部の解説を追記。
- (サ) 5 ページの 3-1-1-2-2 Station 部の 1 行目に「特殊気象報の観測官署について記載する。」の説明を追加、また、枠内に電文例を追記。
- (シ) 5 ページの 3-1-1-2-2-1 Name の「観測官署名を記載する。」を「現象を観測した気象官署（特別地域気象観測所を含む）名を記載する。（注）」に。
- (ス) 5 ページの 3-1-1-2-2-2 Code の「観測官署の国際地点番号を記載する。」を「現象を観測した気象官署（特別地域気象観測所を含む）の国際地点番号を記載する。（注）」に。
- (セ) 5 ページの 3-1-1-2-2-3 Location 「観測官署の住所を記載する。」を「現象を観測した気象官署（特別地域気象観測所を含む）の住所を記載する。」に。
- (ソ) 6 ページの 3-2 AdditionalInfo 部の「特殊気象報に関する付加事項の内容を記載する。」を「特殊気象報に関する付加事項の内容を記載する。なお、付加事項が無い場合、AdditionalInfo 部以下は出現しない。」に。
- (タ) 3-2-1-3 Text の「観測の付加事項として記事を記載する。現象に関する特異事項のうち必要と思われるものを簡略に記載する。ただし、観測した項目が“初冠雪”の場合は必ず山岳名を記載する。」を「観測の付加事項として、現象に関する特異事項のうち必要と思われるものを全角文字で簡略に記載する。ただし、観測した項目が“初冠雪”の場合は必ず山岳名を記載する。また、特別地域気象観測所から発表される“特殊気象報（風）”の場合は、“自動処理”が記載される。なお、記事がない場合は出現しない。」に。
- (チ) 解説資料の最後に（注）を追記。

（注）特別地域気象観測所の特殊気象報（風）については、Control 部の EditorialOffice 及び PublishingOffice に特別地域気象観測所を管理している気象官署名、Station 部の Name 及び Code にコード表 WmoObservingStations に記載の特別地域気象観測所名と国際地点番号が記載される。

2. 個別コード表の一部の修正について

- (1) WmoObservingStations（国際地点番号）について、特別地域気象観測所分を追記。
- (ア) ※1 特殊気象報の「"MeteorologicalInfos/@type"が"季節観測"、"特殊気象報（各種現象）"の場合に利用」を「"MeteorologicalInfos/@type"が"季節観測"、"特殊気象報（各種現象）"、"特殊気象報（風）"又は"特殊気象報(気圧)"の場合に利用」に。

(イ) 表 H 列に特別地域気象観測所名を追記。

(ウ) “特殊気象報 (風)” と “特殊気象報 (気圧)” で使用するフラグ列を追記。

3. サンプルファイルの差替え及び追加

(1) “特殊気象報 (風)” 及び “特殊気象報 (気圧)” の「発表」のサンプルファイルを差替え。

“特殊気象報 (風)” 及び “特殊気象報 (気圧)” の「訂正」と「取消」並びに特別地域気象観測所が発表する “特殊気象報 (風)” のサンプルファイルを追加。

(差替えファイル)

- ・ 70_03_02_091210_tokusyu.xml (#気圧の例) を
70_03_02_101028_tokusyu.xml (#気圧の例) に差替え。
- ・ 70_03_03_091210_tokusyu.xml (#風の例) を
70_03_03_101028_tokusyu.xml (#風の例) に差替え。

(追加ファイル)

- ・ 70_03_02_101028_tokusyu-2.txt (#気圧の“取消”の例)
- ・ 70_03_02_101028_tokusyu-2.xml (”)
- ・ 70_03_02_101028_tokusyu-3.txt (#気圧の“訂正”の例)
- ・ 70_03_02_101028_tokusyu-3.xml (”)
- ・ 70_03_03_101028_tokusyu-2.txt (#風の“取消”の例)
- ・ 70_03_03_101028_tokusyu-2.xml (”)
- ・ 70_03_03_101028_tokusyu-3.txt (#風の“訂正”の例)
- ・ 70_03_03_101028_tokusyu-3.xml (”)
- ・ 70_03_03_101028_tokusyu-4.txt (#風 (特別地域気象観測所) の例)
- ・ 70_03_03_101028_tokusyu-4.xml (”)

4. 別紙2：管理部・ヘッダ部運用整理表の修正について

現在のヘッダ名「トクシユ」の EventID に※6 の注釈を追加。

「※6 Body/MeteorologicalInfos 部の@type が"特殊気象報 (風)"、"特殊気象報 (気圧)"の場合、「発表日時分+観測項目+現象を観測した気象官署の国際地点番号」とする。」